

# 「是旃陀羅」問題に関する教区学習会

2018年10月30日（火）14時～

日程（変更になる場合があります）

14:00 開会（真宗宗歌・挨拶・問題提起） 14:15 講義 15:45 休憩

16:00 座談・レポート 17:00 閉会（恩徳讃）

講師 阪本 仁 氏（解放運動推進本部 本部委員）

会場 三重同朋会館 3階講堂

2023年に宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年を迎えます。

その前年は、1922年に創立した全国水平社の100周年です。

水平社の結成から教団には、『観経』の「是旃陀羅」について抗議の声が上がり、1940年に水平社と東西本願寺による会談が行われています。

しかし、『現代の聖典-学習の手引き-』によれば、「戦前からのこの厳しい問題提起が、現実には毎日浄土三部経を法事等で読経している現場の住職の一人ひとりのところまで届いていたであろうか。また、教学の現場である宗門大学の教授・学生のところまで届いていたであろうか。また、全真宗門徒のところまで届いていたであろうか。否、過去のことではなく、現在はどうなのであろうか。私どもは先ずこの告発の声を真摯に受け止めるところから出発しなければならない」とあります。

2013年の部落解放同盟広島県連合会からの問題提起を機に、改めて問題を受け止め直し、「全真宗門徒」と歩みを果たしていくにあたり、問題の共有と、問題に対するご意見の聴取を目的に、このたび「是旃陀羅」問題に関する教区学習会を開催します。

差別的表現を無自覚に読誦してきた歴史的罪責と、経典の言葉を用いて差別を助長してきた事実を学び伝えていくことを主眼とした、現場を担われる皆さまからのご意見を集約し、水平社創立の精神を宗祖の御誕生と立教開宗の意義に内包してまいりたいと思います。

**参加費無料**

どなたでもご参加いただけます

三重教区「差別と人間を考える」協議会